

仕事ニーズのヒアリング調査活動 報告書

【日付】2012年4月28日(土)～29日(日)

【場所】宮城県気仙沼市

【参加者】辺士名 博吉（那覇 RAC、地区ローターアクト代表）、増田 悠太朗（東京 RAC、地区ローターアクト幹事）、柴田 陽子（東京 RAC）、椎名 美季（東京 RAC）、澤田 純平（東京池袋 RAC）、船造 俊之（東京池袋 RAC）、杉山 幸平（東京荒川 RAC）、谷島 良江（東京荒川 RAC）

2580 地区ローターアクトは今後の継続的な被災地復興支援のため、4月28日から29日にかけて、気仙沼市にて現地の視察及び、ニーズのヒアリング調査活動を行いました。

当日は気仙沼南ローターアクトのご案内のもと、気仙沼社会福祉協議会復興支援センター、気仙沼復興商店街南町紫市場（仮設商店街）、復興屋台村気仙沼横町（仮設商店街）、仮設住宅などの視察・ヒアリング調査を通し、被災地のニーズの掘り起こしを行いました。

実際にヒアリングを行い、不足している支援（ニーズ）や気仙沼における各地域のコミュニティの現状、現地で活動する際の注意点などさまざまなことが明らかになりました。



気仙沼復興商店街にてヒアリング調査



気仙沼ボランティアセンターにてヒアリング調査

また、気仙沼南ロータリークラブ、気仙沼ロータリークラブの会員の方からも懇親会を兼ね、ヒアリングを実施することができました。地元である気仙沼に詳しいロータリアンの皆さまより、気仙沼の地域産業の大部分を占める水産加工業の現状や、若者の人口流出問題、さらには外部から支援するにあたっての要望など、大変詳しく丁寧にお答えいただきました。

現在、持ち帰った調査結果をもとに具体的にどのようなプロジェクトを行っていくのか、2580 地区ローターアクトの持つリソースに合わせた支援を企画・検討中です。

今後は単発的な支援ではなく、中長期的に現地の雇用を創出できるよう、次年度次々年度に引き継げるような企画を行っていく予定です。



地元ロータリーを交えてのヒアリング 兼 懇親会

国際ロータリー第 2580 地区ローターアクト
地区ローターアクト幹事 増田 悠太朗